

# 平成27年度能勢町一般会計決算を認定

## 環境教育常任委員会報告

委員長 大西 則宏

9月16日、20日、21日、本委員会に付託されました「平成27年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、環境創造部・教育委員会の決算内容を審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

**問** 山口町長は、ダイオキシン問題に関係した風評被害の実態を把握しているのか。ダイオキシン問題の説明責任が果たせていない。倒産があった場合の責任をどのように認識しているのか。

**答** 非常に大きな影響が出てくれば対応を考えなければならないが、それほど大きなものでなかったと判断している。物産センター取締役会では、例年と比べて売り上げが下がっていた訳でなく、天候の影響と結論した。

ダイオキシン問題について、説明しないと言っているのではない。詳細を把握したうえで、しっかりと説明をしていきたい。倒産については、私が説明を尽くしたか否かは関係ない。

**問** 新学校にある学びの丘の公園化に関する予定を問う。また、校歌の完成予定はいつか。

**答** 町内2カ所の公園候補地として、総合戦略にあげている。開放には環境の整備が必要であり、来年桜の季節を予定として進めている。校歌については、本年12月末に完成予定である。

**問** 本来は27年4月であった新学校開校が、1年遅れたことによる総経費の増額はどの部分か。政策決定により新学校開校が遅れ、経費増になったことに対する山口町長、森田教育長の責任をどう考えるか。

**答** 総経費増額の明らかな部分は、大阪府からの派遣職員に関する人件費である。新学校開校には責任を持って対応してきた。政策決定は間違っていない。

**問** 旧学校の備品の管理と今後の方針はどうか。

**答** 新学校へ移転していない備品は、そのまま管理している。処分方法については売却を含め、財政担当部署とも調整しながら考える。

**問** てっぺんフェスティバルへの町職員参加であるが、関係職員のみ参加に思える。能勢町の大きなイベントを職員全体で盛り上げようと考えべきである。職員参加を促す努力はしたのか。

**答** 町職員の参加確保は検討が必要と考える。今後、違った形でのPR等全体が盛り上がるようにしていきたい。職員のボランティア参加についての呼びかけはできていない。

**問** 豊能郡環境施設組合に対する負担金について、住民の税金が予算説明と違う使われ方をしていた点は説明すべきである。

**答** 大牟田市で処理する約1億円である以外の正式な報告は、豊能郡環境施設組合からは受けていない。

**問** 道路の危険箇所は把握しているか。また町道平野線・国道173号線接点の信号機について、区長会の要望も出ているがどう対応するのか。

**答** 危険箇所を点検のうえ、地元からの要望等に対応したい。信号機について警察協議は移設だが、信号機を残すという意見を豊能警察に訴えていく。

**問** スクールバスの対応状況と課題は何か。また、徒歩通学の安全対策、対応状況、要望はどうか。

**答** 半数の児童生徒がスクールバスに乗車している。クラブ活動、放課後学習については、送迎等の保護者協力がある。バス停の場所とルートについての地元要望があり、協議している。徒歩・自転車の安全に関しては、8月に各校区の代表区長とPTA会長の連名で要望書が提出されており、通学対策委員会で検討することになっている。

続いて、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計について審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。